

小樽市雪対策基本計画

— 中間見直し —

(計画期間 令和2年度～令和10年度)

取組の評価・見直し内容

令和7年3月

小樽市

小樽市雪対策基本計画

— 中間見直し —

目次

第1章 雪対策基本計画の中間年における見直しの実施	1
重点施策の総括表	2
第2章 重点施策ごとの見直しについて	3
I 効率的な雪対策の充実	
方向性1 冬の安全で安心な交通の確保	
取組① 地域総合除雪による安全な交通の確保	3
取組② 交通事業者等との連携強化	4
方向性2 持続可能な雪対策の推進	
取組③ 除雪ステーションにける管理運営の効率化	6
取組④ 除雪機械の計画的な維持・更新	7
取組⑤ ロードヒーティング設備の計画的な維持・更新	8
II 市民との協働による雪対策の推進	
方向性3 地域で支えあう雪対策の推進	
取組⑥ 生活道路の除排雪支援	10
取組⑦ 砂まきボランティアの推進	11
取組⑧ 福祉除雪等の推進	11
取組⑨ 雪に親しむ冬のイベント等への協力	12
取組⑩ 「冬のルールとお願い」の周知	12
方向性4 地域の実情に応じた雪対策の推進	
取組⑪ 地域の実情に応じた除排雪作業の工夫	13
取組⑫ 観光に配慮した除排雪の推進	13
III 雪堆積場等の確保	
方向性5 大雪に備えた雪堆積場等の確保	
取組⑬ 恒久的な雪堆積場等の確保	14
方向性6 効率的な雪対策への貢献	
取組⑭ 雪押場の確保	15
取組⑮ 排雪量を減量する工夫	15
第3章 基本計画の進行管理	
進行管理表	16

第1章 雪対策基本計画の中間年における見直しの実施

1 見直しの考え方

「雪対策基本計画」は、小樽市総合計画（第7次）を上位計画として、中・長期計画に位置付けられ、冬の市民生活や経済活動を支えるため、将来を見据えた雪対策の指針として基本計画が策定されました。

この計画は、令和2年度から令和10年度までの9年間を計画期間と定めていますが、これまで行った各施策の取組状況と達成状況、社会環境等の変化を踏まえ検証し、今後の取組に対する効果的な進め方等につきまして、中間年にあたる令和6年度に中間見直しを行うことにしました。

2 見直しの内容

令和6年度以降の取組について、これまでの施策の取組や検証結果等を踏まえ、当初設定した指標内容や目標値が取組内容と合わない項目及び社会環境等の変化により実態と相違がある項目について見直しを行いました。

また、各施策の取組状況や検証結果等を考慮し、進行管理表の見直しを行いました。

3 取組の評価

具体の取組について、令和2年度から令和5年度までの取組内容を項目ごとに評価しました。なお、評価基準は下表のとおり。

評価基準			
A	B	C	—
目標値を達成	目標値は未達成であるが、取組を継続中	具体の取組に未着手	指標の「見直し又は新たな設定」により評価不能

重点施策の総括表

重点施策	取組の方向性	取組	具体的取組	指標			
				内容	目標値等	現状値等	評価
I 効率的な雪対策の充実	1 冬の安全で安心な交通の確保	① 地域総合除雪体制による安全な交通の確保	(i) 地域総合除雪体制の継続、維持	見直し	見直し	見直し	—
			(ii) 予防保全的な除排雪作業の実施	見直し	見直し	見直し	B
		② 交通事業者等との連携強化	(i) バス道路等の幹線道路の安全な通行の確保	見直し	見直し	見直し	B
			(ii) 通学路の安全確保	見直し	見直し	見直し	B
			(iii) 市職員等による道路状況のモニタリング情報の活用	見直し	見直し	見直し	C
			(iv) 国道、道道の道路管理者との除雪体制連絡会議の充実	継続	継続	見直し	B
	(v) 市民の皆さんとの情報共有		見直し	見直し	見直し	—	
	2 持続可能な雪対策の推進	③ 除雪ステーションにおける管理運営の効率化	(i) ICT(情報通信技術)の導入	見直し	見直し	見直し	B
			(ii) 除雪業務における技術の継承	見直し	見直し	見直し	—
			(iii) 除雪業務の担い手の確保	継続	継続	継続	A
			(iv) 除雪事業者の確保	継続	見直し	見直し	B
			(v) 除雪ステーション間の連携・協力	見直し	見直し	見直し	B
		④ 除雪機械の計画的な維持・更新	(i) 除雪機械の更新	継続	見直し	見直し	B
			(ii) 除雪機械の維持	継続	見直し	見直し	—
			(iii) 除雪機械の確保	継続	継続	見直し	B
		⑤ ロードヒーティング設備の計画的な維持・更新	(i) ロードヒーティング長寿命化計画の策定	見直し	見直し	見直し	B
			(ii) ロードヒーティング経費の縮減	継続	見直し	見直し	B
			(iii) 地域熱(下水熱等)の活用	見直し	見直し	見直し	B
II 市民との協働による雪対策の推進		3 地域で支え合う雪対策の推進	⑥ 生活道路の除排雪支援	(i) 貸出ダンプ制度の在り方の見直し	継続	見直し	見直し
	(ii) 小型除雪機の購入等支援			見直し	見直し	見直し	B
	(iii) 雪置場の確保			見直し	見直し	見直し	B
	⑦ 砂まきボランティアの推進	(i) 砂まきボランティアのPR活動	継続	継続	見直し	B	
		(ii) 散布用砂袋を配達する作業の効率化	見直し	見直し	見直し	—	
	⑧ 福祉除雪等の推進	(i) 福祉除雪サービス事業の充実とPR活動	継続	継続	見直し	B	
		(ii) 町内会等との連携、協力					
	⑨ 雪に親しむ冬のイベント等への協力	(i) 情報共有と連携、協力	継続	見直し	見直し	A	
	⑩ 「冬のルールとお願い」の周知	(i) 冬に守っていただきたいルール事項の励行	見直し	見直し	見直し	—	
		(ii) 冬のお願い事項への協力					
4 地域の実情に応じた雪対策の推進	⑪ 地域の実情に応じた除排雪作業の工夫	(i) 地域の実情に応じた連携と協力	継続	継続	見直し	B	
	⑫ 観光に配慮した除排雪の推進	(i) 歩行者等の安全で安心な通行の確保	継続	見直し	見直し	A	
III 雪堆積場等の確保	5 大雪に備えた雪堆積場等の確保	⑬ 恒久的な雪堆積場等の確保	(i) 新たな雪堆積場等の確保に向けた情報収集、調査、研究	継続	見直し	見直し	A
			(ii) 融雪施設、流雪溝の調査、研究	見直し	見直し	見直し	B
	6 効率的な雪対策への貢献	⑭ 雪押場の確保	(i) 置き雪の量の軽減	継続	継続	見直し	B
			(ii) 地域住民の皆さんとの連携、協力				
⑮ 排雪量を減量する工夫	(i) 雪押場からの排雪量の減量	見直し	見直し	見直し	C		
	(ii) 雪を活用する工夫	見直し	見直し	見直し	—		

第2章 重点施策ごとの見直しについて

I 効率的な雪対策の充実

方向性1 冬の安全で安心な交通の確保

【取組① 地域総合除雪による安全な交通の確保】

(i) 地域総合除雪体制の継続、維持

指標の内容	指標		備考
	目標値等	現状値等	
除排雪等に対する「市民の声」件数	2,100件	2,697件	H21～H30年までの「市民の声」件数平均値(2,697件)の2割減

(見直し)

指標の内容	指標		備考
	目標値等	現状値等	
構成員数の現状維持	27社	27社	目標値及び現状値：R5年度の構成員数(27社)

■今後の方針

地域総合除雪体制を維持するため、除雪オペレータ等担い手の確保及び構成員数の現状維持に向けた取組について検討を進めていきます。

(ii) 予防保全的な除排雪作業の実施

指標の内容	指標		備考
	目標値等	現状値等	
除排雪等に対する「市民の声」件数	2,100件	2,697件	H21～H30年までの「市民の声」件数平均値(2,697件)の2割減

(見直し)

指標の内容	指標		備考
	目標値等	現状値等	
除雪依頼及び排雪依頼に対する「市民の声」件数	1,120件	1,171件	目標値：指標のH21～H30年までの平均値(1,400件)の2割減。現状値：指標のR1～R5年までの平均値(1,171件)

■今後の方針

継続して、道路パトロールを適宜実施し道路状況の把握に努めるとともに、気象情報を参考に適切なタイミングでの除排雪作業を実施するなど、交通に支障が出る前の除排雪作業に努めます。

【取組② 交通事業者等との連携強化】

(i) バス道路等の幹線道路の安全な通行の確保

指標の内容	指標		備考
	目標値等	現状値等	
除排雪等に対する「市民の声」件数	2,100件	2,697件	H21～H30年までの「市民の声」件数平均値(2,697件)の2割減



(見直し)

指標の内容	指標		備考
	目標値等	現状値等	
道路状況悪化に起因する市内路線バスの運休日数	0日	4日	目標値：0日 現状値：R3～R5年までの運休日数の平均値(4日)

■今後の方針

継続して、交通事業者との情報共有を図り、幹線道路の安全な通行の確保に努めます。

(ii) 通学路の安全確保

指標の内容	指標		備考
	目標値等	現状値等	
除排雪等に対する「市民の声」件数	2,100件	2,697件	H21～H30年までの「市民の声」件数平均値(2,697件)の2割減



(見直し)

指標の内容	指標		備考
	目標値等	現状値等	
小学校3学期始業式前までに主要通学路の排雪作業を実施	100%	70%	目標値：100%、現状値：R3～R5年までに実施した主要通学路(41路線)の実施割合の平均値(70%)

■今後の方針

継続して、小学校3学期始業式前までに主要通学路の排雪作業を実施するとともに、教育関係者との連携を図り、学校周辺及び通学路の安全確保に努めます。

(iii) 市職員等による道路状況のモニタリング情報の活用

指標の内容	指標		備考
	目標値等	現状値等	
道路情報を提供する市職員等の人数	21人以上	—	各除雪ステーション地区に3名程度以上

■今後の方針

LoGo フォームを活用するなど、モニタリング情報を速やかに現場に反映できるような情報集約方法の仕組みづくりを検討していきます。

(iv) 国道、道道の道路管理者との除雪体制連絡会議の充実

指標の内容	指標		備考
	目標値等	現状値等	
除雪体制連絡会議の開催回数	3回	1回	国道、道道、市道の道路管理者



(見直し)

指標の内容	指標		備考
	目標値等	現状値等	
除雪体制連絡会議の開催回数	3回	2回	目標値：変更なし 現状値：R5年度の開催回数(2回)

■今後の方針

継続して、除雪体制連絡会議を実施し、各道路管理者との情報共有に努めます。

(v) 市民の皆さんとの情報共有

指標の内容	指標		備考
	目標値等	現状値等	
—	—	—	※R3年度を目途に検討し、可能なものから実施



(見直し)

指標の内容	指標		備考
	目標値等	現状値等	
道路情報の発信及び収集	現状値以上	4,103人	目標値：現状値以上、現状値：R6年度末時点の小樽市公式LINE友だち登録人数(4,103人)

■今後の方針

更に多くの情報を得られるよう、小樽市公式 LINE への登録者数を増やすための広報活動を行います。

方向性 2 持続可能な雪対策の推進

【取組③ 除雪ステーションにおける管理運営の効率化】

(i) ICT（情報通信技術）の導入

指標の内容	指標		備考
	目標値等	現状値等	
取組の事例数	7事例以上	—	除雪ステーションの地区数以上

(見直し)

指標の内容	指標		備考
	目標値等	現状値等	
ICT試行回数	3回	1回	目標値：3回(現状値1回+1回/年×2年) 現状値：R5年度までに実施したICT試行回数(1回)

■今後の方針

R7年度はGPS端末等を利用した管理システム等、ICT導入に向けて試行するシステムを選定し、R8年度とR9年度に試行を実施するなど、小樽市にとって最適なシステムの導入に向けた検討を進めます。

(ii) 除雪業務における技術の継承

指標の内容	指標		備考
	目標値等	現状値等	
取組の事例数	7事例以上	—	除雪ステーションの地区数以上

(見直し)

指標の内容	指標		備考
	目標値等	現状値等	
技術の継承に向けた取組事例数	1事例以上	0事例	目標値：1事例以上 現状値：0事例

■今後の方針

R7年度から他都市における技術の継承に向けた取組事例の情報収集や関係機関との協議を行うなど、具体的な取組内容について検討を進めます。

(iii) 除雪業務の担い手の確保

指標の内容	指標		備考
	目標値等	現状値等	
除雪ステーションに配置する管理技術者の人数	現状値以上	21人	ステーション配置技術者3人×除雪ステーション数以上

■今後の方針

受託業者への聞き取り調査を実施し、現状での業務主任等要件を満たす人数を把握するとともに、業務主任等要件に該当する者を増やす取組について、他都市の事例等を調査するなど情報収集に努めます。

(iv) 除雪事業者の確保

指標の内容	指標		備考
	目標値等	現状値等	
除雪登録業者数	現状値以上	41社	H30年度の除雪登録業者数以上



(見直し)

指標の内容	指標		備考
	目標値等	現状値等	
除雪登録業者数	41社	37社	目標値：H30年度の除雪登録業者数(41社) 現状値：R5年度の除雪登録業者数(37社)

■今後の方針

他都市の情報収集を行うとともに、新規参入業者を確保するための取組について、引続き検討を進めていきます。

(v) 除雪ステーション間の連携・協力

指標の内容	指標		備考
	目標値等	現状値等	
取組の事例数	7事例以上	—	除雪ステーションの地区数以上



(見直し)

指標の内容	指標		備考
	目標値等	現状値等	
ICT試行回数	3回	1回	目標値：3回(現状値1回+1回/年×2年) 現状値：R5年度までに実施したICT試行回数(1回)

■今後の方針

「取組③(i)」と同様に、R7年度はGPS端末等を利用した管理システム等、ICT導入に向けて試行するシステムを選定し、R8年度とR9年度に試行を実施するなど、小樽市にとって最適なシステムの導入に向けた検討を進めます。

【取組④ 除雪機械の計画的な維持・更新】

(i) 除雪機械の更新

指標の内容	指標		備考
	目標値等	現状値等	
稼働年数15年以上の除雪機械の更新台数	19台	19台	標準耐用年数15年



(見直し)

指標の内容	指標		備考
	目標値等	現状値等	
稼働年数15年以上の除雪機械の更新台数	15台	15台	目標値及び現状値：R5年度末時点で標準耐用年数15年経過台数(15台)

■今後の方針

標準耐用年数15年を経過した除雪機械(15台)の計画的な更新に努めます。

(ii) 除雪機械の維持

指標の内容	指標		備考
	目標値等	現状値等	
市所有の除雪機械台数	38台	28台	現有台数28台とリース車7台、砂散布車3台含む



(見直し)

指標の内容	指標		備考
	目標値等	現状値等	
市所有の除雪機械台数	35台	35台	目標値及び現状値：R5年度時点の保有台数(35台)

■今後の方針

除雪機械台数の維持に努めます。

(iii) 除雪機械の確保

指標の内容	指標		備考
	目標値等	現状値等	
新たに市が確保する機械台数	3台	—	砂散布車 3台



(見直し)

指標の内容	指標		備考
	目標値等	現状値等	
新たに市が確保する機械台数	3台	2台	目標値：変更なし 現状値：R5年度までの砂散布車購入台数(2台)

■今後の方針

砂散布車の適切な維持管理に努めます。

【取組⑤ ロードヒーティング設備の計画的な維持・更新】

(i) ロードヒーティング長寿命化計画の策定

指標の内容	指標		備考
	目標値等	現状値等	
—	—	—	※別途 長寿命化計画の策定時に設定



(見直し)

指標の内容	指標		備考
	目標値等	現状値等	
ロードヒーティング設備更新	74か所	11か所	目標値：長寿命化計画に基づく更新箇所 (74か所) 現状値：R5年度までの更新箇所 (11か所)

■今後の方針

長寿命化計画に基づき設備更新を継続します。

(ii) ロードヒーティング経費の縮減

指標の内容	指標		備考
	目標値等	現状値等	
ロードヒーティングの部分停止面積	21,000m ²	13,817m ²	全設備面積(70,492m ²)の3割の部分停止面積

(見直し)

指標の内容	指標		備考
	目標値等	現状値等	
ロードヒーティングの部分停止面積	16,134m ²	15,904m ²	目標値：R5年度までの部分停止面積15,904m ² +令和6年度以降の部分停止見込面積230m ² の合計、現状値：R5年度までの部分停止面積15,904m ²

■今後の方針

交通の安全が保たれる範囲で、砂散布による路面管理を行い、稼働面積を縮小することで電気代等のコスト縮減に努めます。

(iii) 地域熱（下水熱等）の活用

指標の内容	指標		備考
	目標値等	現状値等	
—	—	—	※R5年度を目途に検討

(見直し)

指標の内容	指標		備考
	目標値等	現状値等	
再生可能エネルギー活用の情報収集件数	7件以上	2件	目標値：7件以上(現状値2件+1件/年×5年) 現状値：R5年度までの情報収集件数(2件)

■今後の方針

継続して、情報収集に努めます。

II 市民との協働による雪対策の推進

方向性3 地域で支え合う雪対策の推進

【取組⑥ 生活道路の除排雪支援】

(i) 貸出ダンプ制度の在り方の見直し

指標の内容	指標		備考
	目標値等	現状値等	
実施団体数	270団体	226団体	H30年度実施団体数(226団体)の2割増

(見直し)

指標の内容	指標		備考
	目標値等	現状値等	
実施団体数	175団体	175団体	目標値及び現状値：R5年度実施団体数(175団体)

■今後の方針

これまでと同様の周知を図り現状の制度を維持しつつ、積込業者や利用団体等から情報収集を行うなど、制度の在り方は引き続き検討を進めます。

(ii) 小型除雪機の購入等支援

指標の内容	指標		備考
	目標値等	現状値等	
—	—	—	※制度を導入時に指標設定

(見直し)

指標の内容	指標		備考
	目標値等	現状値等	
小型除雪機無償貸出の試行	3団体以上	1団体	目標値：3団体以上(1団体/年×3年) 現状値：R5年度試行団体数(1団体)

■今後の方針

令和7年度まで試行を継続し、令和8年度に無償貸出の検証を行い、支援制度の在り方について検討していきます。

(iii) 雪置場の確保

指標の内容	指標		備考
	目標値等	現状値等	
—	—	—	令和5年度を目途に検討

(見直し)

指標の内容	指標		備考
	目標値等	現状値等	
他都市の事例収集件数	10市	5市	目標値：事例収集件数(10市) 現状値：R5年度までに収集した事例件数(5市)

■今後の方針

令和7年度まで情報収集を行い、令和8年度に雪置場の確保について、制度化の必要性も含め検討していきます。

【取組⑦ 砂まきボランティアの推進】

(i) 砂まきボランティアのPR活動

指標の内容	指標		備考
	目標値等	現状値等	
砂まきボランティア登録数	180人以上	153人	平成30年度登録数(153人)の2割増



(見直し)

指標の内容	指標		備考
	目標値等	現状値等	
砂まきボランティア登録数	180人以上	168人	目標値：変更なし 現状値：令和5年度登録数(168人)

■今後の方針

これまでと同様の周知を図るとともに、公式LINEを使ったPR活動等を検討していきます。

(ii) 散布用砂袋を配達する作業の効率化

指標の内容	指標		備考
	目標値等	現状値等	
町会等団体数	20団体以上	—	連合町会数(20団体)程度



(見直し)

指標の内容	指標		備考
	目標値等	現状値等	
大型土のう袋での配達箇所数	現状値以上	2か所	目標値：現状値以上 現状値：R5年度の配達箇所数(2か所)

■今後の方針

現状の個別配達を継続しますが、大型土のう袋での配達が可能な個所につきましては、公共施設も含め検討していきます。

【取組⑧ 福祉除雪等の推進】

(i) 福祉除雪サービス事業の充実とPR活動

(ii) 町内会等との連携と協力

指標の内容	指標		備考
	目標値等	現状値等	
除雪ボランティア登録数	160人以上	133人	平成30年度の除雪ボランティア登録数(133人)の2割増(※団体登録者を含む)



(見直し)

指標の内容	指標		備考
	目標値等	現状値等	
除雪ボランティア登録数	160人以上	134人	目標値：変更なし、現状値：令和5年度除雪ボランティア登録数(134人)(※団体登録者を含む)

■今後の方針

これまでと同様の周知を行い、除雪ボランティアの確保に努めます。

【取組⑨ 雪に親しむ冬のイベント等への協力】

(i) 情報共有と連携、協力

指標の内容	指標		備考
	目標値等	現状値等	
冬のイベント等主催者との情報共有等の事例数	1事例以上	—	



(見直し)

指標の内容	指標		備考
	目標値等	現状値等	
冬のイベント等主催者との情報共有等の事例数	2事例以上	2事例	目標値：2事例以上 現状値：R5年度までの取組事例数（2事例）

■今後の方針

継続して、イベント主催者との連携を図っていきます。

【取組⑩ 「冬のルールとお願い」の周知】

(i) 冬に守っていただきたいルール事項の励行

(ii) 冬のお願い事項への協力

指標の内容	指標		備考
	目標値等	現状値等	
「市民の声」のうち「雪出し」	0件	21件	「市民の声」のうち「雪出し」件数を0とする
「市民の声」のうち「違法駐車」	0件	2件	「市民の声」のうち「違法駐車」件数を0とする



(見直し)

指標の内容	指標		備考
	目標値等	現状値等	
「冬のルールとお願い」の周知方法	現状値以上	5種類	目標値：現状値以上 現状値：これまでの周知方法（5種類）

■今後の方針

継続して、これまでと同様の取組に努めます。

方向性 4 地域の実情に応じた雪対策の推進

【取組⑪ 地域の実情に応じた除排雪作業の工夫】

(i) 地域の実情に応じた連携と協力

指標の内容	指標		備考
	目標値等	現状値等	
町会等団体数	20団体以上	—	連合町会数(20団体)程度

(見直し)

指標の内容	指標		備考
	目標値等	現状値等	
町会等団体数	20団体以上	1団体	目標値：変更なし 現状値：小型除雪機貸出試行団体数(1団体)

■今後の方針

継続して、小型除雪機貸出の試行団体を増やすとともに、その他の連携・協力方法について検討していきます。

【取組⑫ 観光に配慮した除排雪の推進】

(i) 歩行者等の安全で安心な通行の確保

指標の内容	指標		備考
	目標値等	現状値等	
観光に配慮する路線延長	5.4 k m	2.7 k m	H30年度値の2倍程度

(見直し)

指標の内容	指標		備考
	目標値等	現状値等	
観光に配慮する路線延長	6.4km	6.4 k m	目標値：6.4km 現状値：R5年度末時点の路線延長(6.4km)

■今後の方針

継続して、作業を実施し、歩行者の安全で安心な通行の確保に努めます。

Ⅲ 雪堆積場等の確保

方向性5 大雪に備えた雪堆積場等の確保

【取組⑬ 恒久的な雪堆積場等の確保】

(i) 新たな雪堆積場等の確保に向けた情報収集、調査、研究

指標の内容	指標		備考
	目標値等	現状値等	
新たな雪堆積場等の確保数	1か所以上	—	



(見直し)

指標の内容	指標		備考
	目標値等	現状値等	
新たな雪堆積場等の確保数	現状値以上	5か所	目標値：現状値以上 現状値：R5年度までに確保した雪堆積場(5か所)

■今後の方針

今後更に増やしていけるよう中規模雪堆積場の制度設計を行い、雪堆積場の確保に努めます。

(ii) 融雪施設、流雪溝の調査、研究

指標の内容	指標		備考
	目標値等	現状値等	
—	—	—	R5年度を目途に検討



(見直し)

指標の内容	指標		備考
	目標値等	現状値等	
大規模な融雪施設や流雪溝の情報収集件数	7件以上	2件	目標値：7件以上(現状値2件+1件/年×5年) 現状値：R5年度までの情報収集件数(2件)

■今後の方針

新たな技術の情報収集を行うなど、引続き調査研究を進めていきます。

方向性 6 効率的な雪対策への貢献

【取組⑭ 雪押場の確保】

(i) 置き雪の量の軽減

(ii) 地域住民の皆さんとの連携、協力

指標の内容	指標		備考
	目標値等	現状値等	
雪押場の箇所数	530か所以上	439か所	平成30年度の雪押場数(439か所)の2割増

(見直し)

指標の内容	指標		備考
	目標値等	現状値等	
雪押場の箇所数	530か所以上	513か所	目標値：変更なし 現状値：令和5年度の雪押場数(513か所)

■今後の方針

既存の雪押場を確保しつつ、これまでと同様に空き地の情報提供の依頼に努めます。

【取組⑮ 排雪量を減量する工夫】

(i) 雪押場からの排雪量の減量

指標の内容	指標		備考
	目標値等	現状値等	
雪押場の箇所数	530か所以上	439か所	平成30年度の雪押場数(439か所)の2割増

(見直し)

指標の内容	指標		備考
	目標値等	現状値等	
排雪条件付き雪押場箇所数	80か所	98か所	目標値：現状値(98か所)の2割減の80か所、現状値：令和5年度の排雪条件付き民有地雪押場箇所(98か所)

■今後の方針

継続して、雪押場を確保するとともに、排雪条件付き雪押場箇所を減らす取組を検討していきます。

(ii) 雪を活用する工夫

指標の内容	指標		備考
	目標値等	現状値等	
—	—	—	R5年度を目途に検討

(見直し)

指標の内容	指標		備考
	目標値等	現状値等	
雪の活用事例の把握	現状値以上	8事例	目標値：現状値以上 現状値：R5年度までの事例把握数(8事例)

■今後の方針

情報収集に努めます。

第3章 基本計画の進行管理

進行管理表

重点施策	取組の方向性	取組	具体的取組	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	指標						
														当初			中間見直し			
														内容	目標値等	現状値等 (H30)	内容	目標値等	現状値等	
I 効率的な雪対策の充実	1 冬の安全で安心な交通の確保	① 地域総合除雪体制による安全な交通の確保	(i) 地域総合除雪体制の継続・維持	継続					継続					除排雪等に対する「市民の声」件数	2,100件	2,697件	構成員数の現状維持	27社	27社	
			(ii) 予防保全的な除排雪作業の実施	継続				継続			除雪依頼及び排雪依頼の「市民の声」の件数	1,120件	1,171件							
		② 交通事業者等との連携強化	(i) バス道路等の幹線道路の安全な通行の確保	継続				継続			道路状況悪化に起因する市内路線バスの運休日数	0日	4日							
			(ii) 通学路の安全確保	継続				継続			小学校3学期始業式前までに主要通学路の排雪作業実施の有無	100%	70%							
			(iii) 市職員等による道路状況のモニタリング情報の活用		試行	実施→			継続		道路情報を提供する市職員等の人数	21人以上	—							
	(iv) 国道、道道の道路管理者との除雪体制連絡会議の充実	継続					継続			除雪体制連絡会議の開催回数	3回	1回								
	(v) 市民の皆さんとの情報共有		調査・研究	実施→			継続			—	—	—	道路情報の発信及び収集	現状値以上	4,103人					
	2 持続可能な雪対策の推進	③ 除雪ステーションにおける管理運営の効率化	(i) ICT(情報通信技術)の導入		調査・研究→(R5年度を目的)					調査・研究を継続→(R10年度を目的)					取組の事例数	7事例以上	—	ICT試行回数	3回	1回
			(ii) 除雪業務における技術の継承		調査・研究→(R5年度を目的)					調査・研究を継続→(R10年度を目的)				技術の継承に向けた取組事例数				1事例以上	0事例	
			(iii) 除雪業務の担い手の確保		調査・研究→(R5年度を目的)					調査・研究を継続→(R10年度を目的)				除雪ステーションに配置する管理技術者の人数				現状値以上	21人	
			(iv) 除雪事業者の確保		調査・研究→(R5年度を目的)					調査・研究を継続→(R10年度を目的)				除雪登録業者数				現状値以上	41社	
			(v) 除雪ステーション間の連携・協力		調査・研究	実施→				調査・研究を継続→(R10年度を目的)				取組の事例数				7事例以上	—	
		④ 除雪機械の計画的な維持・更新	(i) 除雪機械の更新	継続						継続					稼働年数15年以上の除雪機械の更新台数	19台	19台	稼働年数15年以上の除雪機械の更新台数	15台	15台
			(ii) 除雪機械の維持	継続						継続					市所有の除雪機械台数	38台	28台	市所有の除雪機械台数	35台	35台
			(iii) 除雪機械の確保						実施→		継続				新たに市が確保する機械台数	3台	—	新たに市が確保する機械台数	3台	2台
⑤ ロードヒーティング設備の計画的な維持・更新			(i) ロードヒーティング長寿命化計画の策定						計画策定	実施→	継続				—	—	—	ロードヒーティング設備更新	74か所	11か所
			(ii) ロードヒーティング経費の縮減						継続		継続				ロードヒーティングの部分停止面積	21,000m2	13,817m2	ロードヒーティングの部分停止面積	16,134m2	15,904m2
(iii) 地域熱(下水熱等)の活用						調査・研究	(R5年度を目的)		情報収集→(R10年度を目的)				—	—	—	再生可能エネルギー活用の情報収集件数	7件以上	2件		
II 市民との協働による雪対策の推進	3 地域で支え合う雪対策の推進	⑥ 生活道路の除排雪支援	(i) 貸出ダンプ制度の在り方の見直し	継続					継続					実施団体数	270団体	226団体	実施団体数	175団体	175団体	
			(ii) 小型除雪機の購入等支援		調査・研究	実施→				試行・検討→(R8年度を目的)				—	—	—	小型除雪機無償貸出の試行	3団体以上	1団体	
			(iii) 雪置場の確保		調査・研究→(R5年度を目的)					情報収集・検討→(R8年度を目的)				—	—	—	他都市の事例収集件数	10市	5市	
	⑦ 砂まきボランティアの推進	(i) 砂まきボランティアのPR活動	継続						継続					砂まきボランティアの登録数	180人以上	153人	砂まきボランティアの登録数	180人以上	168人	
		(ii) 散布用砂袋を配達する作業の効率化	継続						継続					町会等団体数	20団体以上	—	大型土のう袋での配達箇所数	現状値以上	2か所	
		⑧ 福祉除雪等の推進	(i) 福祉除雪サービス事業の充実とPR活動	継続						継続					除雪ボランティアの登録数	160人以上	133人	除雪ボランティアの登録数	160人以上	134人
			(ii) 町内会等との連携・協力	継続						継続					—	—	—	—	—	
	⑨ 雪に親しむ冬のイベント等への協力	(i) 情報共有と連携・協力	継続						継続					冬のイベント等主催者との情報共有等の事例数	1事例以上	—	冬のイベント等主催者との情報共有等の事例数	2事例以上	2事例	
		⑩ 「冬のルールとお願い」の周知	(i) 冬に守っていただきたいルール事項の励行	継続						継続					「市民の声」のうち「雪出し」	0	21	「冬のルールとお願い」の周知方法	現状値以上	5種類
			(ii) 冬のお願い事項への協力	継続						継続				「市民の声」のうち「違法駐車」	0	2				
4 地域の実情に応じた雪対策の推進	⑪ 地域の実情に応じた除排雪作業の工夫	(i) 地域の実情に応じた連携と協力		実施・調査・研究→					調査・研究→					町会等団体数	20団体以上	—	町会等団体数	20団体以上	1団体	
		⑫ 観光に配慮した除排雪の推進	(i) 歩行者等の安全で安心な通行の確保	継続					継続						観光に配慮する路線延長	5.4km	2.7km	観光に配慮する路線延長	6.4km	6.4km
III 雪堆積場等の確保	5 大雪に備えた雪堆積場等の確保	⑬ 恒久的な雪堆積場等の確保	(i) 新たな雪堆積場等の確保に向けた情報収集、調査、研究	継続/調査・研究→(R5年度を目的)					継続					新たな雪堆積場等の確保数	1か所以上	—	新たな雪堆積場等の確保数	現状値以上	5か所	
			(ii) 融雪施設、流雪溝の調査、研究		調査・研究→(R5年度を目的)					情報収集→(R10年度を目的)				—	—	—	大規模な融雪施設や流雪溝の情報収集件数	7件以上	2件	
	6 効率的な雪対策への貢献	⑭ 雪押場の確保	(i) 置き雪の量の軽減	継続					継続						雪押場の箇所数	530か所以上	439か所	雪押場の箇所数	530か所以上	513か所
			(ii) 地域住民の皆さんとの連携、協力	継続					継続					排雪条件付き雪押場箇所数				80か所	98か所	
⑮ 排雪量を減量する工夫	(i) 雪押場からの排雪量の減量	継続						継続					—	—	—	雪の活用事例の把握	現状値以上	8事例		
	(ii) 雪を活用する工夫		調査・研究→(R5年度を目的)						情報収集→(R10年度を目的)											